

テレワーク検証事業の中間報告について（令和3年3月31日時点）

1 登録状況

職員数 28名（11課所）

2 在宅勤務におけるテレワーク環境の利用状況（2月26日～3月31日）

| 実施回数 | 実施 | | | | | | 未実施 |
|------|----|------|----|----|----|----|-----|
| | 合計 | 5回以上 | 4回 | 3回 | 2回 | 1回 | |
| 人数 | 15 | 3 | 1 | 4 | 3 | 4 | 13 |

3 テレワークで実施した業務内容（主なものを集計）

- ・資料作成（計画案、会議資料、会議録）
- ・照会、依頼等に対する回答（掲示板、メール等への対応）
- ・オンライン会議への出席 ※Zoom等を利用した会議参加
- ・和光市ホームページの更新作業
- ・業者、外部の者との連絡調整
- ・Web研修・セミナー受講
- ・財務会計処理（財務会計システム、伝票作成等）

4 テレワーク検証参加者からのテレワークに対する意見

別添のとおり

5 今後の取り組み

(1) 次期テレワーク検証事業参加希望調査

現在の検証は、2月26日から5月31日となっており、次期は6月1日から9月30日の間で実施予定です。

改めて参加希望、現在利用中の職員の継続利用について照会を行い、引き続き検証を実施します。

(2) コミュニケーションツールの導入、利活用検討

テレワーク中の連絡調整にコミュニケーションツール（LOGOチャット）が活用されています。テレワーク環境下で職場職員とのコミュニケーションを取るツールとして非常に有用であり、民間の無償SNSツールと比較して業務利用における安全性が高く、LGWAN端末とスマートフォン等機器との連携、プライベートアカウントとの分離した利用などがメリットとして挙げられます。

9月末までのトライアル利用であるため、引き続き業務上での効果を検証し、トライアル終了後の継続利用（有償）について検討します。

テレワーク実証実験参加者からのテレワークに対する意見

| | |
|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 不自由なく業務に取りかかることができた。 ・ 日頃から、テレワークを念頭に仕事に取組み、「職場でやる仕事」と「テレワークでやる仕事」の仕分けを行っておくことで、計画的にテレワークを実施することができた。 ・ 感染症対策や働き方の見直しにおいて、市役所と家だけでなく、市役所内でもテレワークができる環境もできたらいいと思う。 |
| 2 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人情報や接客がない部署はテレワークが可能かと思う。 ・ 一方、4月に異動し、異動先でテレワークの話をするとうらやましいといった声が聞こえた。 ・ 新型コロナという観点では、できる部署の職員（企画部総務部など）事務方は積極的に活用したほうが良いと考えるが、新型コロナではなく、今後テレワークを全庁的に進めるのであれば、子育て世代の男性、女性向けに全庁的なテレワークの活用や、介護をしている職員へのテレワークの活用など（個人情報を抱える部署でも可能な範囲で）視点を変えた活用が市役所にはいいのかもしれない。 |
| 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・ テレワーク以前はあまり必要性を感じなかった LoGo チャットが、テレワークではとても便利だった。 ・ 職員課に提出する在宅勤務申請書が紙で提出しなければならないため、違和感がある。 ・ 職場の PC に接続できるシステムがなければ、テレワークを続けるのは難しいと思う。 |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・ サイボウズを利用できるのが良い。 |
| 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅 PC で職場の PC を使えるので、作業には全く問題ない。サイトパブリスに関しては、動作が軽く、作業が捗った。 ・ 急ぎの要件であれば、電話連絡をし、急ぎでなければメッセージや Logo チャットで連絡調整が可能。 ※コミュニケーションは直接会って取るべきという考え方や、何かあったときに対処できないから執務室にいるべきと考える方がいると、理解を得難い。 ・ 自宅で職場の PC と同じ作業ができるのが、結局決裁の為に出勤し、押印を求めなければならず、時間が非常にもったいない。 ・ テレワーク導入と同時に、電子決裁についても導入を検討していただきたい。 |
| 6 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 課内でテレワーク対象者が一人なのと、全員なのとでは、組織としてのテレワークへの意識が異なると感じました。一人が週一テレワークしている環境下では、在宅職員へ電話や直接の問合せがあった時に「明日でいいか」となりがちです。テレワークが当たり前であれば、遠慮なく問合せする・折り返しさせるなど、通常勤務時の環境に近づくと考えます。 ・ 計画系の業務であれば、ファイルサーバやサイボウズにアクセスできれば、資料作成の上、メールや電話で調整、という日常の業務が十分可能と感じました。もっと推進する流れになってもらいたいと思います。 |

| | |
|----|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人事異動の前後は引継ぎなどがあり、対面の方が効率が良い面が多い状況ですが、落ち着いたらまたテレワークしたいと思います。 ・ 事前に予定業務の報告、事後に成果の報告を行うが、出勤時には求められないので違和感があります。 |
| 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 接続も早く大変円滑に業務が進み、遠距離通勤等による感染リスク減少をはかることができ、大変助かっています。 ・ 今後、新型コロナウイルスを含む不測の事態が起こった場合に業務継続ができる環境があることは、個人のみならず組織の業務継続の安定性を確保するうえでも大変重要だと思います。 ・ また、子育て・介護等でフルタイム勤務が難しいケースに導入する等、ライフスタイルに合わせて働きやすい職場環境づくりに貢献する活用方法もあると思います。 |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・ LoGo チャットにログインしていない他課の職員と、在宅勤務中に意思疎通が図りづらかった。今後チャットツールを正式に契約した場合には、課内で積極的に利用してもらうなど、全職員がログインするように促すと良いかもしれない。 ・ 課内での連絡については、在宅勤務をしている側の意見としては LoGo チャットがあれば特に不自由しないと感じた。 ・ 在宅勤務中の職員宛てに課へ電話があった場合の対応について、ある程度ルールを決めておいても良いかもしれない。本人が希望した場合に私用携帯への電話を利用可とするのか、庁内からなら LoGo チャットで問い合わせてもらうように伝えるのかなど。 ・ テレワークではディスプレイが2枚ある自宅の環境が使い、データ整理などの作業効率は格段に向上していたと思う。テレワークに適した業務を在宅の日に回すように調整もできるので、今後もぜひ続けられると嬉しい。 ・ 通勤の時間と労力がなくなるのは肉体的に非常に楽に感じた。週に1度の在宅勤務があるだけでも、有給を取得しなくても無理なく働き続けられると感じた。睡眠時間も長くなり体調がとても良い。 |
| 9 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 何不自由なく仕事をすることができました。 ・ 状況に応じて、電話やメッセージ、ロゴチャットを使用しました。 |
| 10 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用 PC の動作環境が思いのほか快適であり、まったく支障なく作業できた。 ・ 懸念事項としては、県などの関係機関や庁舎との電話連絡のため、通話料金がかかってしまうこと。 |